

埼玉大学教育学部附属特別支援学校

第50回

特別支援教育研究協議会

合わせた指導の 学習評価



後援:埼玉県教育委員会 さいたま市教育委員会 埼玉県連合教育 埼玉県特別支援教育研究会

令和5年2月4日(土) 9:30~16:30

場所: 埼玉大学教育学部附属特別支援学校

来校・対面参加/オンライン参加 ※ハイブリッド開催



埼玉大学教育学部附属特別支援学校は開校 50 周年!

第50回 特別支援教育研究協議会

【研究テーマ】

児童生徒の確かな学びを目指した授業づくり(1年次)

－「各教科等を合わせた指導」における学習評価の研究－

※「確かな学び」…学習指導要領では「確かな学力」とされています。本校では、「学力」に限らず、学び方、学ぶ過程、ともに学ぶ仲間や相手、環境の活用等も含めて大切にするために、「確かな学び」としました。

■ 研究の背景

- ▶本校は、知的障害のある児童生徒の学習上の特性から、生活に即した学習や体験的な学習として「各教科等を合わせた指導」を教育課程の中心に据え、児童生徒の自立と社会参加を目指してきました。一方で、「各教科等を合わせた指導」の教科等の目標・内容との関連、児童生徒に何が身についたのかを教科の視点から明確にすることが課題でもありました。
- ▶そこで、本校が重視する「各教科等を合わせた指導」において、取り扱う各教科等の目標・内容を明らかにし、その学習評価のあり方を改善することが、児童生徒の「確かな学び」を育む授業づくりにつながるのではないかと考えました。

■ 今年度の取組

- ▶3年研究の1年目として、「各教科等を合わせた指導」の1単位時間の授業において、児童生徒が学習する教科等の目標・内容を明らかにし、その学習評価の方法について検討しています。
- ▶1単位時間の授業を計画する際に、授業者が学習内容とその評価規準を整理・検討する際の枠組みを、「フレームワーク」としてまとめています。公開授業では、そのフレームワークをもとにした授業計画及び実践を、研究協議では、フレームワークの検討・意見交換を予定しています。

検討中のフレームワーク案

【日程】

9:30~	10:25~	11:20~	12:10~	13:15~	14:30~ 16:30
全体会	公開授業	意見交換会	昼食	講演会	研究協議 (分科会)

※予定している内容は、感染状況等により、変更される場合があります。

※対面参加については、感染症対策として、大勢が集まる状況は避け、全体会・講演会は、各学部の場合からオンラインで中継・参加していただきます。

※昼食は各自ご用意をお願いします。本校近隣にも、飲食店やお弁当を購入できる店はございます。

【公開授業】 10:25～11:10

「単元(題材)名」 / 内容 / 授業者		
小学部	1組 生活単元学習	「こころをこめて ありがとう」 授業者:荒木魁斗 神保まなみ 外山小織
	2組 生活単元学習	「おみせを ひらこう」 学校周辺にある商店街のお店をめぐり、身近にあるいろいろなお店をヒントに、2組の子供たちがお店作りをします。写真や手本を見ながら、「自分で」できることを増やしていくことを目指しています。 授業者:三浦光里 石川和宏
	3組 生活単元学習	「ゆきまつりを しよう」 授業者:鈴木健太 平田祐也
中学部	1年 生活単元学習	「木のお店の準備をしよう」 授業者:木皿優 丸山碧
	2年 生活単元学習	「育てた花で作ってみよう」 授業者:松岡加織 佐藤孝
	3年 生活単元学習	「校内実習をがんばろう！」 空き缶リサイクルを行います。生徒たちは「卒業旅行の資金を貯める」という目的に向けて取り組みます。一人一人の力が発揮できる役割分担を工夫し、協力してやり遂げる力や将来に向けての「はたらく」気持ちを育みます。 授業者:大崎由香里 長谷川秀丸
高等部	メンテナンス班 作業学習	「依頼された場所を清掃しよう」 班員は、高等部1～3年の縦割りで編成され、依頼を受けた場所(校内施設、学校周辺施設)の清掃を行います。作業を通じて地域や学校に貢献する気持ちや清掃技術の習得を目指します。また、自己評価や他者評価を通じて課題を見つけ、自ら考えて改善を図る力を育成しています。 授業者:齊藤可奈子 岩淵睦 谷内田怜
	農園芸班 作業学習	「食品加工 ～目指せ、マメな職人！～」 授業者:綿谷衛 柿沼隆太
	手工芸班 作業学習	「通信販売ショップを開こう」 授業者:郡司美和 須田淳

【授業者との意見交換】 11:20～12:00

公開授業の授業者を中心に、活動設定や支援の方法など、具体的な授業の内容、授業づくりについて、質疑応答や意見交換を行います。

【講演会】 13:15~14:20

演題「知的障害教育における各教科等の『見方・考え方』に関して(仮)」
オンライン配信

講師:文部科学省 初等中等教育局

特別支援教育課 特別支援教育調査官 **加藤宏昭 先生**

【研究協議】 14:30~16:30

各学部の研究の取り組みについて報告します。また、今回使用したフレームワークを参加者の方にも実践していただき、合わせた指導の学習評価の方法について協議します。

指導・助言者の先生方からは、公開授業・研究内容に対するご指導・ご助言をいただきます。

小学部	埼玉県教育局 市町村支援部 義務教育指導課 学びの支援担当	指導主事	山崎 慎也
	埼玉大学教育学部 特別支援教育講座	准教授	山中 冴子
	埼玉大学教育学部 附属教育実践総合センター	特任教授	櫻井 康博
中学部	埼玉県教育局 県立学校部 特別支援教育課 特別支援学校教育指導担当	指導主事	但野 智哉
	埼玉大学教育学部 特別支援教育講座	教授	葉石 光一
	埼玉大学教育学部 附属教育実践総合センター	教授	長江 清和
高等部	埼玉県立総合教育センター 特別支援教育担当	指導主事	堀口 剛
	埼玉大学教育学部 特別支援教育講座	教授	名越 斉子

【お申込み】

■参加方法、参加費:

オンライン参加… 人数制限なし 無料

対面参加 …………… 各学部20名程度 1000 円(資料印刷代)

※当日、受付にて納入してください。

■申込方法:

ホームページの申し込みフォームより、お申込みください。

<https://fuyou.saitama-u.ac.jp/dai50kai-kyougikai/>

■申込締め切り 令和5年 1月30日(月)17:00

■本校へのアクセス

🚉 JR 埼京線・川越線 : 日進駅南口下車 徒歩12分

🚗 ニューシャトル 埼玉新都市交通 : 鉄道博物館駅下車 徒歩18分

※来場者用の駐車場はございません。お車でのご来校は御遠慮下さい。

■お問い合わせ

埼玉大学教育学部附属特別支援学校 〒331-0823 埼玉県さいたま市北区日進町 2-480

TEL: 048-663-6803 / FAX: 048-666-3670

E-mail: kenkyu@gr.saitama-u.ac.jp 研究主任:三浦駿介

QRコードからも
お申込みできます。

